

マスク着用の考え方の見直し等について

令和5年3月8日
尾北ハンドボールスクール
尾北ハンドボールクラブ

1. マスク着用の考え方の見直し等について

(1) 見直しの概要

着用は個人の判断に委ねることを、基本とし感染防止対策としてマスクの着用が効果的である場面などでは、一定の場合にはマスクの着用を推奨する。

このマスク着用の考え方の見直しは、円滑な移行を図る観点から、国民への周知期間や団体の準備期間等も考慮して3月13日から適用する。

- ・屋内において、他者と身体的距離（2 m 以上を目安）がとれない場合、他者と距離がとれるが会話を行う場合、屋外において他者と距離がとれず会話を行う場合は、マスクの着用を推奨する。
なお、屋内において他者と身体的距離がとれて会話をほとんど行わない場合は、マスク着用は必要ない。
- ・屋外において、他者と身体的距離が確保できる場合、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要なく、特に夏場については、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨する。
- ・基礎疾患等の様々な事情により、感染不安を抱き、引き続きマスクの着用を希望する会員に対して適切に配慮するとともに、換気の確保等の必要な対策を講じる。地域や学校における新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染状況等に応じて、スクール・クラブが会員に対して着用を促すことも考えられるが、そのような場合も含め、選手や保護者等の主体的な判断が尊重されるよう、着脱を強いることがないようにすること。

(2) 留意事項

マスクを着用するかどうかは、個人の判断に委ねることを基本とし、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう周知していく。

会員については、すこやかな発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要である。

なお、感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得る。

ただし、そのような場合においても、会員のマスク着用については、健康面等への影響も懸念されており、引き続き、指導者、保護者や周りの大人が個々の子ども体調に十分注意する必要がある。

基本的な感染対策について マスク着用の考え方の見直し後であっても、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に、基づく基本的な感染対策は重要であり、引き続き、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行を行う事とする。

- ・ 練習・試合の前の検温、手洗い消毒は継続する事とする。
- ・ 遠征、練習試合等に参加の場合は、マスクの用意をお願いする事とする。